



模の人員を投入し捜索に当たっている。5月には同グループに対し物資支援を行っていたとされるテロリスト数名が逮捕されており、国家警察庁長官は潜伏中のテロリストの逮捕に引き続き取り組んでいく旨述べている。また、同月、スラバヤ・ジュアンダ空港において、I S I Lに合流するためシリアへの渡航を企てたとされる男ら6名が逮捕された。警察当局はI S I L関係者についても引き続き取締りを強化していく由。

(2) アチェ州の海岸にミャンマーのロヒンギャ族及びバングラデシュ人が漂着し、保護收容されている問題を巡って、今後、当地イスラム団体等によるインドネシア政府機関、当地ミャンマー大使館等に対するデモが発生する恐れがある。5月27日にはミャンマー大使館前でイスラム急進組織F P Iによるデモが行われ、規模は200名程度であったものの、同大使館正門前でマネキン人形を燃やす、インドネシア政府に対しミャンマーとの国交断絶を求める内容のシュプレヒコールを叫ぶ等のパフォーマンスが行われた。デモの現場に居合わせた場合には近づかないようにする等、ご注意ください。

### 3. 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(1) この1ヶ月間で特段大きな事件・事故は見受けられなかったが、引き続き、置き引きや窃盗の被害に関する報告を受けている。特にカバンから目を離していた際に盗まれる事案が多い。具体例は以下のとおり。

ア. ホテルのロビーにて、カバンを椅子の上に置いたまま支払いを行い、支払後気がついたらカバンがなくなっていた。

イ. 乗り合いバスに乗車中、携帯電話の操作に夢中になっていたところ、近くに置いていたはずのカバンがなくなっていた。

上記のとおり、不注意により盗難被害に遭う事例が大半である。所持品については、貴重品を含むものは特に、肌身離さず携行する等の意識を徹底していただきたい。

(2) 18日からラマダン(断食月)開始予定。ラマダン期間中の注意・留意事項に関するお知らせを発出済であるところ、大使館ホームページ等で詳細をご確認いただきたい。主な留意事項としては、普段以上にイスラム教、ムスリムの習慣に対し配慮する、例年レバランが近づくにつれ窃盗事件が増加傾向にあるため、普段以上に周囲を警戒することが挙げられる。

### 4. 最新の医療事情等

現在韓国でMERS(中東呼吸器症候群)の感染が拡大している。元々中東地域で感染拡大していたものだが、5月20日以降、中東から帰国した韓国人が韓国国内で発症したことを皮切りに、院内感染により本9日現在で95名が感染、うち7名が死亡している。現段階で3次感染まで確認されている由。MERSウイルスは飛沫感染すると言われていることから、予防には手洗いやマスクの着用が有効とされるが、詳しいことは分かっていない。現時点で日本国内及びインドネシア国内での感染の報告はないが、インドネシア保健当局に

より、韓国発ジャカルタ行フライトの乗客に対し問診票によるスクリーニング及びサーモセンサーによる体温チェックが行われている由。東京発の便に影響はないものの、韓国経由でジャカルタを渡航される在留邦人におかれては右ご留意いただき、適宜情報提供いただければ幸い。また、現時点で韓国への渡航に関する自粛勧告等は我が国及びインドネシア当局のいずれからも発出されていないが、今後も情報収集に努めていただきたい。当館からもホームページ等を通じ必要な情報提供を行う。

## 5. 質疑応答，各社（団体）からの報告等

### （報告）

MERSに関し、東京発ジャカルタ行のフライトに対してはスクリーニング実施等の特別な措置は執られていない。他方、韓国に渡航するインドネシア人出稼ぎ労働者で、帰国時に日本を経由する者が少なからず存在する。こうした者を対象とした検疫処置等も現時点では存在しないが、今後の状況次第で何らかの措置が課される可能性があるものと思われる。

VOAを含む査証免除につき、空港サイドからも特段の通知はない。昨年VOA手数料が改定された（25ドル→35ドル）際には、前日夕方に通知がなされ、現場対応に苦慮した。

先般、市或いは州の労働局から、当社が事務所を置く **Wisma Keiai** ビルの全テナント宛に、5月18－29日の期間中に外国企業に対する査察を行う旨の通知書簡が接到了。最終的に査察に入られた企業・団体は同ビル内で2社のみ（1社は日系企業、1社は共愛クリニックの由）であった。

### （報告・質問）

インドネシア中銀が国内の金融取引におけるルピア使用義務化を発表したが、VOA手数料については引き続き米ドル紙幣による現金支払いが適用されている由。

在留邦人から、ゴルフ場付近で警察当局により旅券原本の提示を要求されるとの噂を耳にしたが、場所等詳細情報をお持ちであれば共有いただきたい。

### （回答）

当社の顧客から得た情報によればゴルフ場で、白昼に旅券提示を要求された由。

### （報告）

先月、休日に当社社員が家族と北ジャカルタを車で移動していたところ、警官に呼び止められ、全員分のKITASの提示を求められた。同社員は家族全員分のKITASを携行していたため、金銭要求などの被害は受けなかった。

### （報告）

今般職員2名がデング熱に罹患した。うち1名は依然感染疑いであり、もう1名はジャカルタ着任後直ぐに感染し、1週間後職務に復帰した。

(報告) (J J S)

先月、3件のデング熱感染事例が発生した。

また、先月セコム社の監修の下、大規模地震発生を想定した避難訓練を実施した。10月には爆弾予告を想定した避難訓練、来年3月には大規模火災を想定した避難訓練を実施予定。

13日午前8時より体育祭を開催予定。史上最多の生徒総数1,230名、保護者を含め計約3,000名がJ J Sに集結予定である。参加者規模が大きいことから、初の試みとしてフィールドとテントの間に立ち見席を設ける予定。

(報告) (J J C)

空港のパスポートコントロールで押印されるスタンプの年月日が、誤って1年前になっていたとの報告を受けた。入管側のミスとはいえ、出国時のトラブルにつながることも想定されることから、パスポートコントロール通過後には押印スタンプの日付が誤っていないかご確認いただきたい。

また、検問等における旅券提示に関し、出入国に関する法律(2011年第6号)の条文には、外国人はK I T A S 或いは旅券を提示せねばならない旨記されており、現在J J C 労働問題委員会から入管総局に対し旅券とK I T A S 両方を提示する必要はないのではないかとの主旨の照会を行っているが、現時点で先方から返答はない。引き続きフォローアップを行いたい。